

# インテリア業界 3 社の企業分析

株式会社ニトリホールディングス

Nitori Holdings Co., Ltd.

東京証券取引所 プライム市場 [9843]

会計基準：日本基準

決算日：8 月 31 日（年 1 回）

分析期間・分析年度

6 年間

2018 年度（2018 年 3 月 1 日～2019 年 2 月 28 日）－ 2023 年度（2023 年 9 月 1 日～2024 年 8 月 31 日）

※2020 年に決算日を 2 月 28 日から 8 月 31 日に変更しているが、分析には影響はない。

株式会社良品計画

RYOHIN KEIKAKU CO., LTD.

東京証券取引所 プライム市場 [7453]

会計基準：日本基準

決算日：8 月 31 日（年 1 回）

分析期間・分析年度

6 年間

2018 年度（2018 年 3 月 1 日～2019 年 2 月 28 日）－ 2023 年度（2023 年 9 月 1 日～2024 年 8 月 31 日）

※2020 年に決算日を 2 月 28 日から 8 月 31 日に変更しているが、分析には影響はない。

株式会社パルグループホールディングス

PAL GROUP Holdings CO.,LTD.

東京証券取引所 プライム市場 [2726]

会計基準：日本基準

決算日：2 月末日（年 1 回）

分析期間・分析年度

6 年間

2018 年度（2018 年 3 月 1 日～2019 年 2 月 28 日）－ 2023 年度（2023 年 3 月 1 日～2024 年 2 月 29 日）

経済学部 経済学科 2 年

学籍番号 2311510000 氏名

分析グレード グレード 1

## 設問① 経営基礎分析

### インテリア業界について

#### 業界情報

業界規模	1.6兆円 ↑
利益率	3.5% ↓
成長率	10.4% ↑
平均年収	584万円 →

※2022 年 - 2023 年

#### 業界の現状

新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要によって、住環境の見直しが活発化された。またアフターコロナによる新しい働き方の為のオフィスの移転や、リニューアル工事などが行われた。これらによって家庭用家具・オフィス用家具市場で成長が見られた。しかし人件費や建材費、物流費などの価格の高騰などが課題である。

#### 業界の特徴

インテリア業界というものは空間を彩る商品やサービスを提供する業界である。家具、照明器具、カーテン、カーペット、生活雑貨、この全ての商品が対象となり、幅広い点が特徴である。

#### 業界シェアランキング

順位	企業名
1 位	株式会社ニトリホールディングス
2 位	株式会社良品計画
3 位	イケア・ジャパン株式会社
4 位	株式会社東京インテリア家具
5 位	株式会社ナフコ
6 位	株式会社アクタス
7 位	株式会社ミサワ
8 位	株式会社カッシーナ・イクスシー

※2022 年 - 2023 年

# 株式会社ニトリホールディングス

## 企業情報

家具やインテリア用品の企画・開発・製造・販売などを行うグループ会社の経営管理を行う企業である。現在アジアを中心に事業を拡げており、顧客に「豊かさ」、「お、ねだん以上」を提供し続けるべく、改革への挑戦を続ける。

## 企業理念

「住まいの豊かさを世界の人々に提供する。」を掲げ、人々の生活様式の変化や品質向上への志向、商品・サービスへの拡大化のニーズに応えている。  
また社会的な要請・社会的な期待にも応え、住まいの豊かさを楽しめる社会の実現に貢献している。

## 沿革

1972 年 3 月	家具の販売を目的として、似鳥家具卸センター株式会社を設立
1986 年 7 月	社名を株式会社ニトリに変更
2003 年 10 月	海外進出開始
2010 年 8 月	社名を株式会社ニトリホールディングスに変更
2012 年 10 月	札幌本社を現在地に移転

## 事業内容

ニトリ事業と島忠事業に区別されており、ニトリ事業では、家具・インテリア用品の開発・製造・販売及びその他不動産賃貸業、広告サービス、物流サービス等を行う。島忠事業では家具・インテリア雑貨・ホームセンター商品の販売等を行う。

## 従業員数

連結会社の従業員数は 18,934 人、臨時従業員数の年間平均人員は 19,606 人  
提出会社の従業員数は 1,091 人、臨時従業員数の年間平均人員は 284 人  
※2024 年 3 月 31 日現在

## 関連会社

### ○国内

株式会社ニトリ

株式会社島忠

株式会社ホームロジスティクス

株式会社ニトリファシリティ など

### ○海外

NITORI USA, INC.

似鳥(中国)投資有限公司

宜得利家居股份有限公司

NITORI FURNITURE VIETNAM EPE など

## 株式会社良品計画

### 企業情報

無印良品や MUJI ブランドの小売店舗・商品開発と製造・販売を展開する専門小売企業である。  
創業以来「素材の選択」「工程の点検」「包装の簡略化」の3つのわけを守りながら、実質本位の商品をつくり続けている。

### 企業理念

「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献することを掲げ、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供し、地域への良いインパクトを実現することを使命とする。

### 沿革

1989 年 6 月	東京都豊島区に資本金 100 百万円をもって株式会社良品計画を設立、卸売事業を開始
1990 年 3 月	株式会社西友から「無印良品」の営業を譲り受け小売事業（直営店）を開始
1991 年 7 月	海外進出開始
1995 年 7 月	新規事業として、新潟県中魚沼郡津南町にて「無印良品津南キャンプ場」の運営を開始。
2005 年 9 月	インターネットと FAX によるオンラインショップ「無印良品 ネットストア」を開始。

### 事業内容

当社と子会社 29 社で構成されており、自社ブランド商品である「無印良品」及び「MUJI」の商品の販売を主な事業とし、他にも企画開発、商品調達、流通加工及び直営店での小売ならびに、ライセンスドストアを専ら販売する店舗を運営している取引先への供給を行う。

また「Café&Meal MUJI」ブランドの飲食販売、キャンプ場の運営、住宅の販売、「IDÉE」ブランドの商品販売も行う。

### 従業員数

連結会社の従業員数は 12,071 人、臨時従業員数の年間平均人員は 12,571 人

提出会社の従業員数は 3,436 人、臨時従業員数の年間平均人員は 9,513 人

※2024 年 8 月 31 日現在

### 関連子会社

株式会社 MUJI HOUSE（東京都）

MUJI U.S.A. Limited（ニューヨーク）

MUJI（HONG KONG）CO.,LTD.（香港）

MUJI（SINGAPORE）PRIVATE LTD.（シンガポール）

MUJI ITALIA S.p.A.（ミラノ）

MUJI Korea Co.,Ltd.（ソウル） など

# 株式会社パルグループホールディングス

## 企業情報

大阪市中央区に本社を置く、衣料品販売および雑貨販売を手掛ける持株会社である。

グループ中核企業の株式会社パルを中心に、オリジナルブランドの衣料品の企画・販売を手掛けるほか、300 円均一の雑貨店「3COINS」などを展開する。

## 企業理念

人間生活の基本である「衣・食・住」のうち、「衣」（衣料）を主たる事業とする者と掲げ、単に公正な競争を通じて利潤を追求するという経済的主体のみならず、広く人々の日常生活にとって有用な存在であり続けたいと考えている。

## 沿革

1973 年 10 月	株式会社スコッチ洋服店のカジュアル部門を分離し、株式会社パルを設立
1994 年 4 月	300 円ショップ「3 COINS」を大阪市北区茶屋町に出店。雑貨事業の出店開始
2000 年 2 月	インターネットによる衣料及び雑貨の通信販売業として、株式会社インヴォークモードを設立
2016 年 9 月	会社分割を行い、商号を株式会社パルグループホールディングスに変更するとともに、衣料、雑貨事業を新たに設立した株式会社パル(現・連結子会社)に承継。

## 事業内容

当社を持株会社として、子会社 11 社及び関連会社 2 社にて構成されており、一般消費者を対象とした店頭での衣料の販売を主力事業として、雑貨の販売及びその他の事業を展開している。

衣料事業は、「常に新しいファッションライフの提案を通じて社会に貢献する」の社是のもと、移り変わるファッションのトレンドを的確に捉え、多様なコンセプトの業態を開発。

雑貨事業は、販売価格 330 円（税込）の商品を主体に、既存の 100 円ショップよりファッション性を高めた雑貨を販売する「3 COINS」のほかナチュラルテイストの「サリュ」、アクセサリーとバッグ主体の「ラティス」を展開。

また連結子会社㈱マグスタイルにより、生活関連雑貨の卸売、小売を行う。

## 従業員数

連結会社の従業員数は 3,804 人、臨時従業員数の年間平均人員は 3,304 人

提出会社の従業員数は 65 人、臨時従業員数の年間平均人員は 1 人

※2024 年 2 月 29 日現在

## 関連会社

株式会社パル

株式会社マグスタイル

PAL HOLDINGS (SINGAPORE) PTE. LTD.

帕璐（上海）商贸有限公司                      など

## SWOT 分析

### 株式会社ニトリホールディングス

	好影響	悪影響
内部要因	<b>強み</b> 売上高が業界 1 位 全工程を自社で行う製造物流小売業 品質の良い低価格商品の提供	<b>弱み</b> 海外への事業進出の遅れ デジタル分野の弱さ
外部要因	<b>機会</b> コロナ禍による外出自粛による、 住環境見直しの活発化	<b>脅威</b> 競合企業の多さ 原材料費や物流費の高騰 節約志向による顧客の減少

### 株式会社良品計画

	好影響	悪影響
内部要因	<b>強み</b> 衣食住の商品を扱う幅広い品揃え グローバル展開 認知度の高さ	<b>弱み</b> ブランド依存 ビジネス戦闘力の弱さ
外部要因	<b>機会</b> 食品やスキンケア商品による、 顧客の獲得 値上げによる大幅な増収増益	<b>脅威</b> 競合企業の多さ 原材料費や物流費の高騰

### 株式会社パルグループホールディングス

	好影響	悪影響
内部要因	<b>強み</b> 様々な業界のブランドを持つ 消費者ニーズを重視したマーケット イン	<b>弱み</b> 特定の顧客層から圧倒的な支持を得 る ブランドがない
外部要因	<b>機会</b> 商品構成の価格設定見直しによる、 売上高増加	<b>脅威</b> 競合企業の多さ 原材料費や物流費の高騰

## 設問② 要約連結財務諸表と会計基礎分析

株式会社ニトリホールディングス

[単位：百万円]

連結貸借対照表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
資産合計	619,286	683,247	930,884	983,840	1,133,771	1,238,679
流動資産	216,561	263,589	302,750	278,367	330,353	347,736
現金及び預金	102,345	159,190	158,577	130,435	131,928	137,943
有価証券	0	0	7,791	0	0	0
固定資産	402,725	419,657	628,134	705,472	803,417	890,942
有形固定資産	302,041	307,387	482,494	560,481	649,479	736,897
無形固定資産	18,857	24,599	36,874	38,116	33,005	31,162
投資その他の資産	81,826	87,670	108,765	106,875	120,932	122,882
繰延資産	0	0	0	0	0	0
負債合計	119,094	122,385	245,492	251,027	315,674	342,370
流動負債	95,016	97,063	206,345	163,181	221,769	276,336
固定負債	24,078	25,322	39,146	87,845	93,905	66,033
純資産合計	500,192	560,861	685,392	732,813	818,096	896,308
資本金	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370
資本剰余金	19,841	25,074	26,255	26,814	30,711	30,715
利益剰余金	472,755	532,471	612,082	692,768	771,743	841,541
自己株式(減算)	-7,727	-10,875	-8,971	-7,771	-10,111	-10,113
株主資本合計 ⑪	498,240	560,042	642,737	725,181	805,714	875,513
その他の包括利益累計額合計 ⑫	1,481	529	-640	7,631	12,382	20,790
自己資本 =⑪+⑫	499,721	560,571	642,097	732,812	818,096	896,303
株式引受権・新株予約権	470	289	0	0	0	0
非支配株主持分	0	0	43,295	0	0	4
負債・純資産合計	619,286	683,247	930,884	983,840	1,133,771	1,238,679

## 株式会社良品計画

[単位：百万円]

連結貸借対照表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
資産合計	258,309	306,512	393,357	399,324	453,715	509,551
流動資産	167,522	171,279	269,047	262,206	293,412	335,447
現金及び預金	55,444	38,814	135,752	90,162	115,038	125,225
有価証券	0	0	0	0	0	0
固定資産	90,787	135,233	124,310	137,118	160,302	174,103
有形固定資産	46,167	82,463	67,060	73,082	83,630	93,514
無形固定資産	16,479	24,330	29,479	29,627	29,555	34,843
投資その他の資産	28,140	28,439	27,770	27,770	47,116	45,744
繰延資産	0	0	0	0	0	0
負債合計	63,120	98,019	178,486	154,472	186,268	212,546
流動負債	53,574	63,048	141,716	78,923	123,470	121,024
固定負債	9,546	34,971	36,770	75,548	62,798	91,521
純資産合計	195,189	208,492	214,871	244,852	267,446	297,004
資本金	6,766	6,766	6,766	6,766	6,766	6,766
資本剰余金	10,826	10,875	27,922	29,586	29,620	29,719
利益剰余金	186,364	199,590	205,995	219,534	230,541	260,789
自己株式(減算)	-14,780	-13,984	-30,973	-31,082	-29,920	-29,272
株主資本合計 ⑪	189,177	203,246	209,709	224,805	237,008	268,002
その他の包括利益累計額合計 ⑫	1,492	794	2,487	16,750	26,590	24,810
自己資本 =⑪+⑫	190,669	204,040	212,196	241,555	263,598	292,812
株式引受権・新株予約権	390	754	605	664	631	487
非支配株主持分	4,128	3,696	2,068	2,632	3,216	3,704
負債・純資産合計	258,309	306,512	393,357	399,324	453,715	509,551



連結貸借対照表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
資産合計	87,726	94,954	108,186	93,728	112,510	126,922
流動資産	62,566	62,566	81,966	69,859	85,496	96,692
現金及び預金	45,633	52,727	63,088	52,250	63,845	67,228
有価証券	0	0	0	0	0	0
固定資産	25,159	27,112	26,220	23,868	27,014	30,230
有形固定資産	8,153	7,780	7,677	6,608	9,120	10,905
無形固定資産	808	690	549	467	333	393
投資その他の資産	16,197	18,641	17,992	16,792	17,560	18,931
繰延資産	0	0	0	0	0	0
負債合計	46,087	48,327	63,834	46,339	57,319	63,477
流動負債	33,358	36,004	52,181	36,334	43,237	45,023
固定負債	12,728	12,323	11,652	10,004	14,082	18,453
純資産合計	41,639	46,627	44,351	47,389	55,191	63,444
資本金	3,181	3,181	3,181	3,181	3,181	3,181
資本剰余金	4,469	4,469	4,469	4,478	4,478	4,478
利益剰余金	35,811	40,969	39,040	41,943	49,703	59,254
自己株式(減算)	-2,088	-2,088	-2,172	-2,173	-2,174	-3,672
株主資本合計 ⑪	41,373	46,531	44,518	47,430	55,187	63,241
その他の包括利益累計額合計 ⑫	265	96	-166	-101	-5	203
自己資本 =⑪+⑫	41,638	46,627	44,352	47,329	55,182	63,444
株式引受権・新株予約権	0	0	0	0	0	0
非支配株主持分	0	0	0	0	0	0
負債・純資産合計	87,726	94,954	108,186	93,728	112,510	126,922

## 株式会社ニトリホールディングス

[単位：百万円]

連結損益及び包括利益計算書	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
売上高・営業収益	608,131	642,273	716,900	811,581	948,094	895,799
売上原価	276,709	287,909	305,109	385,684	469,988	439,850
売上総利益	331,421	354,364	411,791	425,897	478,106	455,949
販売費及び一般管理費	230,642	246,886	274,104	287,627	338,029	328,223
総原価	507,351	534,795	579,213	673,311	808,017	768,073
営業利益	100,779	107,478	137,687	138,270	140,076	127,725
営業外収益	2,561	2,476	2,363	4,417	4,760	5,349
営業外費用	286	432	1,624	840	751	697
経常利益	103,053	109,522	138,426	141,847	144,085	132,377
特別利益	102	626	767	800	17	1,784
特別損失	2,665	5,078	8,497	868	5,189	10,257
税金等調整前当期純利益	100,490	105,069	130,696	141,779	138,913	123,904
法人税等合計	32,309	33,674	38,582	45,054	43,783	37,381
当期純利益	68,180	71,395	92,114	96,724	95,129	86,523
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	0	0	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	68,180	71,395	92,114	96,724	95,129	86,523

## 株式会社良品計画

[単位：百万円]

連結損益及び包括利益計算書	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
売上高・営業収益	408,848	437,775	453,689	496,171	581,412	661,677
売上原価	198,317	221,084	231,355	261,814	309,862	325,267
売上総利益	210,531	216,691	222,334	234,356	271,549	336,410
販売費及び一般管理費	166,636	181,248	179,887	201,582	238,412	280,274
総原価	364,953	402,332	411,242	463,396	548,274	605,541
営業利益	44,743	44,743	42,447	32,773	33,137	56,135
営業外収益	1,957	1,214	4,420	6,067	5,169	2,575
営業外費用	840	1,218	1,498	1,626	2,150	2,933
経常利益	45,861	36,377	45,369	37,214	36,156	55,777
特別利益	8,635	19	4,922	224	3,047	10,016
特別損失	612	1,792	1,702	4,234	5,436	5,879
税金等調整前当期純利益	53,883	34,603	48,589	33,204	33,767	59,914
法人税等合計	19,751	11,910	14,918	8,426	11,441	18,077
当期純利益	34,131	22,693	33,670	24,778	22,326	41,836
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	-232	220	274	270
親会社株主に帰属する当期純利益	33,845	23,253	33,903	24,558	22,052	41,566

## 株式会社パルグループホールディングス

[単位：百万円]

連結損益及び包括利益計算書	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
売上高・営業収益	130,474	132,163	108,522	134,200	164,482	192,544
売上原価	57,774	57,776	49,284	59,886	74,260	86,261
売上総利益	72,700	74,386	59,237	74,314	90,221	106,283
販売費及び一般管理費	64,766	65,319	57,853	66,793	74,399	87,677
総原価	122,540	123,095	107,137	126,679	148,659	173,938
営業利益	7,933	9,067	1,383	7,520	15,822	18,605
営業外収益	94	249	135	416	356	385
営業外費用	195	148	465	276	117	151
経常利益	7,832	9,168	1,052	7,660	16,061	18,839
特別利益	751	0	333	272	0	0
特別損失	882	564	882	1,862	831	600
税金等調整前当期純利益	7,701	8,604	504	6,070	15,229	18,239
法人税等合計	2,941	1,576	233	2,097	5,326	5,402
当期純利益	4,760	7,028	270	3,973	9,903	12,836
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	0	-28	-51	-8
親会社株主に帰属する当期純利益	4,760	7,028	270	4,001	9,955	12,845

## 株式会社ニトリホールディングス

[単位：百万円]

連結キャッシュ・フロー計算書	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
営業活動によるCF ①	81,664	99,337	150,879	85,565	91,398	143,593
投資活動によるCF ②	-30,424	-44,486	-195,985	-119,980	-132,538	-131,824
フリー・キャッシュ・フロー ①+②	51,240	54,851	-45,106	-34,415	-41,140	11,769
財務活動によるCF	-11,340	-13,862	30,309	17,729	36,903	-20,606
現金及び現金同等物の換算差額	-768	-250	-507	2,936	2,276	1,035
現金及び現金同等物の純増加額	39,130	40,737	-15,304	-13,748	-1,960	-7,801
現金及び現金同等物の期首残高	60,923	100,053	140,791	125,487	127,076	125,115
現金及び現金同等物の期末残高	100,053	140,791	125,487	127,076	125,115	117,313

## 株式会社良品計画

[単位：百万円]

連結キャッシュ・フロー計算書	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
営業活動によるCF ①	23,680	24,452	61,447	23,350	56,527	58,504
投資活動によるCF ②	-5,492	-31,435	-13,538	-16,683	-22,106	-27,654
フリー・キャッシュ・フロー ①+②	18,188	-6,983	47,909	6,667	34,421	30,850
財務活動によるCF	-9,505	-11,467	-15,162	-58,647	-11,232	-23,412
現金及び現金同等物の換算差額	-2,255	-1,280	2,246	7,192	1,764	3,098
現金及び現金同等物の純増加額	6,427	-19,731	34,993	-44,787	24,952	10,536
現金及び現金同等物の期首残高	47,329	53,756	91,599	135,019	90,231	115,184
現金及び現金同等物の期末残高	53,756	34,025	135,019	90,231	115,184	125,527

## 株式会社パルグループホールディングス

[単位：百万円]

連結キャッシュ・フロー計算書	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
営業活動によるCF ①	10,378	14,705	1,450	7,970	17,029	13,460
投資活動によるCF ②	-1,182	-3,543	-1,188	-679	-2,599	-4,404
フリー・キャッシュ・フロー ①+②	9,196	11,162	262	7,291	14,430	9,056
財務活動によるCF	-4,291	-4,068	10,098	-18,128	-2,835	-5,672
現金及び現金同等物の換算差額	0	0	0	0	0	0
現金及び現金同等物の純増加額	4,904	7,094	10,360	-10,838	11,595	3,383
現金及び現金同等物の期首残高	40,728	45,633	52,727	63,088	52,250	63,845
現金及び現金同等物の期末残高	45,633	52,727	63,088	52,250	63,845	67,228

### 設問③ 財務分析表

#### 株式会社ニトリホールディングス

財務分析表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	6年平均
<b>収益性分析</b>							
ROE	13.6%	12.7%	14.3%	13.2%	11.6%	9.7%	12.5%
ROA[営業利益]	16.3%	15.7%	14.8%	14.1%	12.4%	10.3%	13.9%
ROA[経常利益]	16.6%	16.0%	14.9%	14.4%	12.7%	10.7%	14.2%
ROA[当期純利益]	11.0%	10.4%	9.9%	9.8%	8.4%	7.0%	9.42%
ROA[最終利益]	11.0%	10.4%	9.9%	9.8%	8.4%	7.0%	9.4%
売上総利益率	54.5%	55.2%	57.4%	52.5%	50.4%	50.9%	53.5%
売上原価率	45.5%	44.8%	42.6%	47.5%	49.6%	49.1%	46.5%
売上高販管費比率	37.9%	38.4%	38.2%	35.4%	35.7%	36.6%	37.1%
売上高営業利益率	16.6%	16.7%	19.2%	17.0%	14.8%	14.3%	16.4%
売上高総原価率	83.4%	83.3%	80.8%	83.0%	85.2%	85.7%	83.6%
売上高経常利益率	16.9%	17.1%	19.3%	17.5%	15.2%	14.8%	16.8%
売上高税引前利益率	16.5%	16.4%	18.2%	17.5%	14.7%	13.8%	16.2%
売上高総費用比率	89.2%	89.4%	87.6%	88.7%	90.5%	91.1%	89.4%
売上高最終利益率	11.2%	11.1%	12.8%	11.9%	10.0%	9.7%	11.1%
総資本回転率	0.98	0.94	0.77	0.82	0.84	0.72	0.85
財務レバレッジ比率	1.24	1.22	1.45	1.34	1.39	1.38	1.34
<b>財政状態分析</b>							
流動比率	227.9%	271.6%	146.7%	170.6%	149.0%	125.8%	181.9%
自己資本比率	80.7%	82.0%	69.0%	74.5%	72.2%	72.4%	75.1%

株式会社良品計画

財務分析表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	6年平均
収益性分析							
ROE	17.8%	11.4%	16.0%	10.2%	8.4%	14.2%	13.0%
ROA[営業利益]	17.3%	14.6%	10.8%	8.2%	7.3%	11.0%	11.5%
ROA[経常利益]	17.8%	11.9%	11.5%	9.3%	8.0%	10.9%	11.6%
ROA[当期純利益]	13.2%	7.4%	8.6%	6.2%	4.9%	8.2%	8.1%
ROA[最終利益]	13.1%	7.6%	8.6%	6.1%	4.9%	8.2%	8.1%
売上総利益率	51.5%	49.5%	49.0%	47.2%	46.7%	50.8%	49.1%
売上原価率	48.5%	50.5%	51.0%	52.8%	53.3%	49.2%	50.9%
売上高販管費比率	40.8%	41.4%	39.6%	40.6%	41.0%	42.4%	41.0%
売上高営業利益率	10.9%	10.2%	9.4%	6.6%	5.7%	8.5%	8.6%
売上高総原価率	89.3%	91.9%	90.6%	93.4%	94.3%	91.5%	91.8%
売上高経常利益率	11.2%	8.3%	10.0%	7.5%	6.2%	8.4%	8.6%
売上高税引前利益率	13.2%	7.9%	10.7%	6.7%	5.8%	9.1%	8.9%
売上高総費用比率	94.4%	95.3%	94.6%	96.3%	97.6%	95.6%	95.6%
売上高最終利益率	8.3%	5.3%	7.5%	4.9%	3.8%	6.3%	6.0%
総資本回転率	1.58	1.43	1.15	1.24	1.28	1.30	1.33
財務レバレッジ比率	1.35	1.50	1.85	1.65	1.72	1.74	1.64
財政状態分析							
流動比率	312.7%	271.7%	189.8%	332.2%	237.6%	277.2%	270.2%
自己資本比率	73.8%	66.6%	53.9%	60.5%	58.1%	57.5%	61.7%

株式会社パルグループホールディングス

財務分析表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	6年平均
<b>収益性分析</b>							
ROE	11.4%	15.1%	0.6%	8.5%	18.0%	20.2%	12.3%
ROA[営業利益]	9.0%	9.5%	1.3%	8.0%	14.1%	14.7%	9.4%
ROA[経常利益]	8.9%	9.7%	1.0%	8.2%	14.3%	14.8%	9.5%
ROA[当期純利益]	5.4%	7.4%	0.2%	4.2%	8.8%	10.1%	6.0%
ROA[最終利益]	5.4%	7.4%	0.2%	4.3%	8.8%	10.1%	6.1%
売上総利益率	55.7%	56.3%	54.6%	55.4%	54.9%	55.2%	55.3%
売上原価率	44.3%	43.7%	45.4%	44.6%	45.1%	44.8%	44.7%
売上高販管費比率	49.6%	49.4%	53.3%	49.8%	45.2%	45.5%	48.8%
売上高営業利益率	6.1%	6.9%	1.3%	5.6%	9.6%	9.7%	6.5%
売上高総原価率	93.9%	93.1%	98.7%	94.4%	90.4%	90.3%	93.5%
売上高経常利益率	6.0%	6.9%	1.0%	5.7%	9.8%	9.8%	6.5%
売上高税引前利益率	5.9%	6.5%	0.5%	4.5%	9.3%	9.5%	6.0%
売上高総費用比率	97.0%	94.9%	100.2%	97.6%	94.2%	93.5%	96.2%
売上高最終利益率	3.6%	5.3%	0.2%	3.0%	6.1%	6.7%	4.2%
総資本回転率	1.49	1.39	1.00	1.43	1.46	1.52	1.38
財務レバレッジ比率	2.11	2.04	2.44	1.98	2.04	2.00	2.10
<b>財政状態分析</b>							
流動比率	187.6%	173.8%	157.1%	192.3%	197.7%	214.8%	187.2%
自己資本比率	47.5%	49.1%	41.0%	50.5%	49.0%	50.0%	47.8%



株式会社ニトリホールディングス

財務分析表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	6年平均
成長性分析							
売上高増加率	6.3%	5.6%	11.6%	13.2%	16.8%	-5.5%	8.0%
営業利益増加率	7.9%	6.6%	28.1%	0.4%	1.3%	-8.8%	5.9%
経常利益増加率	8.6%	6.3%	26.4%	2.5%	1.6%	-8.1%	6.2%
最終利益増加率	6.2%	4.7%	29.0%	5.0%	-1.6%	-9.0%	5.7%
総資産増加率	12.5%	10.3%	36.2%	5.7%	15.2%	9.3%	14.9%
純資産増加率	13.3%	12.1%	22.2%	6.9%	11.6%	9.6%	12.6%
利益剰余金増加率	13.9%	12.6%	15.0%	13.2%	11.4%	9.0%	12.5%

株式会社良品計画

財務分析表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	6年平均
成長性分析							
売上高増加率	7.9%	7.1%	3.6%	9.4%	17.2%	13.8%	9.8%
営業利益増加率	-1.2%	0.0%	-5.1%	-22.8%	1.1%	69.4%	6.9%
経常利益増加率	-0.3%	-20.7%	24.7%	-18.0%	-2.8%	54.3%	6.2%
最終利益増加率	12.4%	-31.3%	45.8%	-27.6%	-10.2%	88.5%	12.9%
総資産増加率	8.4%	18.7%	28.3%	1.5%	13.6%	12.3%	13.8%
純資産増加率	11.9%	6.8%	3.1%	14.0%	9.2%	11.1%	9.3%
利益剰余金増加率	14.8%	7.1%	3.2%	6.6%	5.0%	13.1%	8.3%

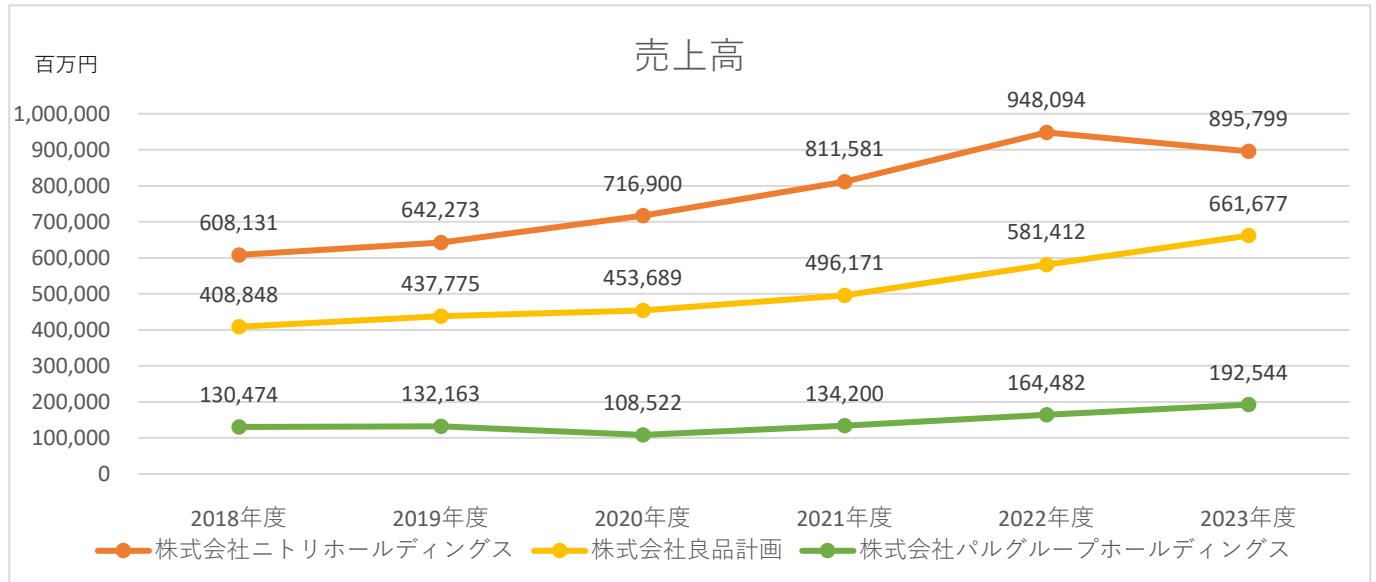
株式会社パルグループホールディングス

財務分析表	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	6年平均
成長性分析							
売上高増加率	5.9%	1.3%	-17.9%	23.7%	22.6%	17.1%	8.8%
営業利益増加率	12.7%	14.3%	-84.7%	443.7%	110.4%	17.6%	85.7%
経常利益増加率	12.4%	17.1%	-88.5%	628.1%	109.7%	17.3%	116.0%
最終利益増加率	91.2%	47.6%	-96.2%	1381.9%	148.8%	29.0%	267.1%
総資産増加率	5.8%	8.2%	13.9%	-13.4%	20.0%	12.8%	7.9%
純資産増加率	8.2%	12.0%	-4.9%	6.8%	16.5%	15.0%	8.9%
利益剰余金増加率	9.5%	14.4%	-4.7%	7.4%	18.5%	19.2%	10.7%

## 設問④ 財務諸表分析

### ○企業規模比較

#### 売上高



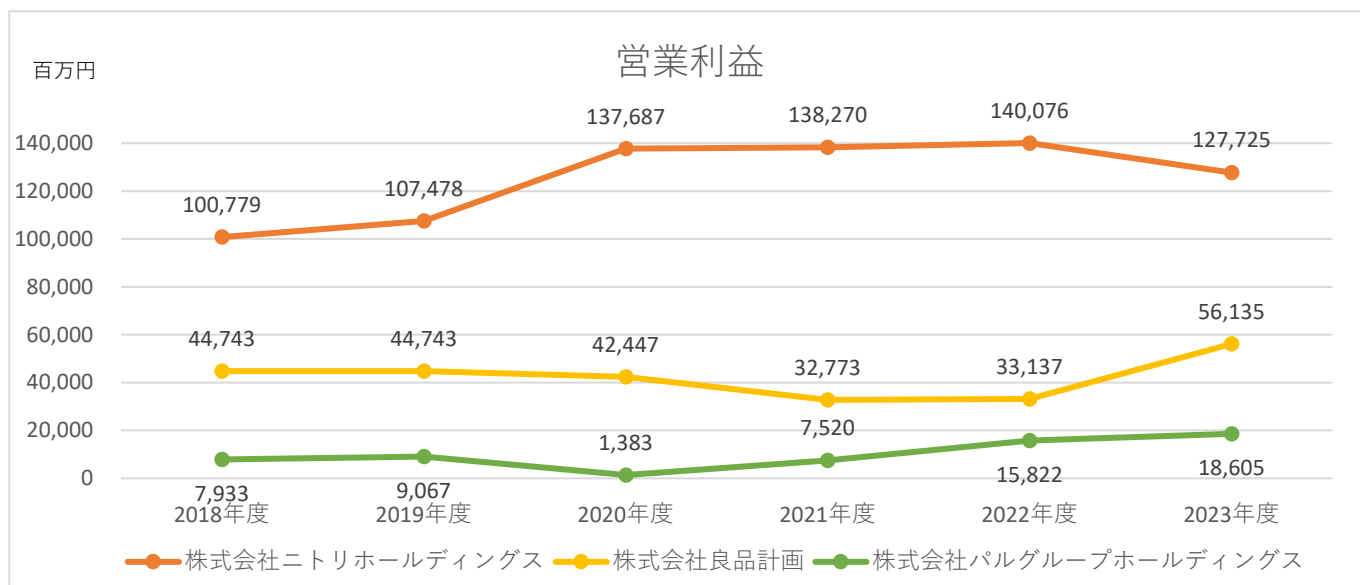
売上高とは、顧客に販売した財・サービスの金額のことであり、対価として企業が受け取ると期待される金額のことをいう。これは企業の規模を測ることができる。

株式会社ニトリホールディングスは家具やインテリア用品を主力製品とし、吸湿発熱素材を使用した「N ウォーム」シリーズや、接触冷感素材を使用した「N クール」シリーズなどの商品によって、2018年度から2022年度までは売上高が増加傾向にあった。しかし2023年にここ6年で初の減少となった。これは株式会社ニトリホールディングスの製品が海外から輸入されており、その結果円安による輸入コストの上昇が原因と考えられる。

株式会社良品計画は衣生食の商品を販売する「無印良品」を主力ブランドとし、「不揃いバウム」や「発酵導入美容液」などの商品によって2018年度から2023年度まで順調に売上高を伸ばしている。詳しく見てみると、2018年度から2021年度まではあまり売上は増加しなかったが、2021年度から2023年度にかけて売上が前年よりも大きく増加していることが分かる。

株式会社パルグループホールディングスは「3COINS」を主力雑貨ブランドとし、幅広い商品を販売している。しかしこの6年間売上高はほぼ変わらず、6年間で約60,000百万円しか増加していない。また他の2社と比べて、株式会社パルグループホールディングスのみ2020年度に売上高が減少している。これはコロナ禍における2度の緊急事態宣言によって、来客数の減少が原因だと考えられる。

## 営業利益



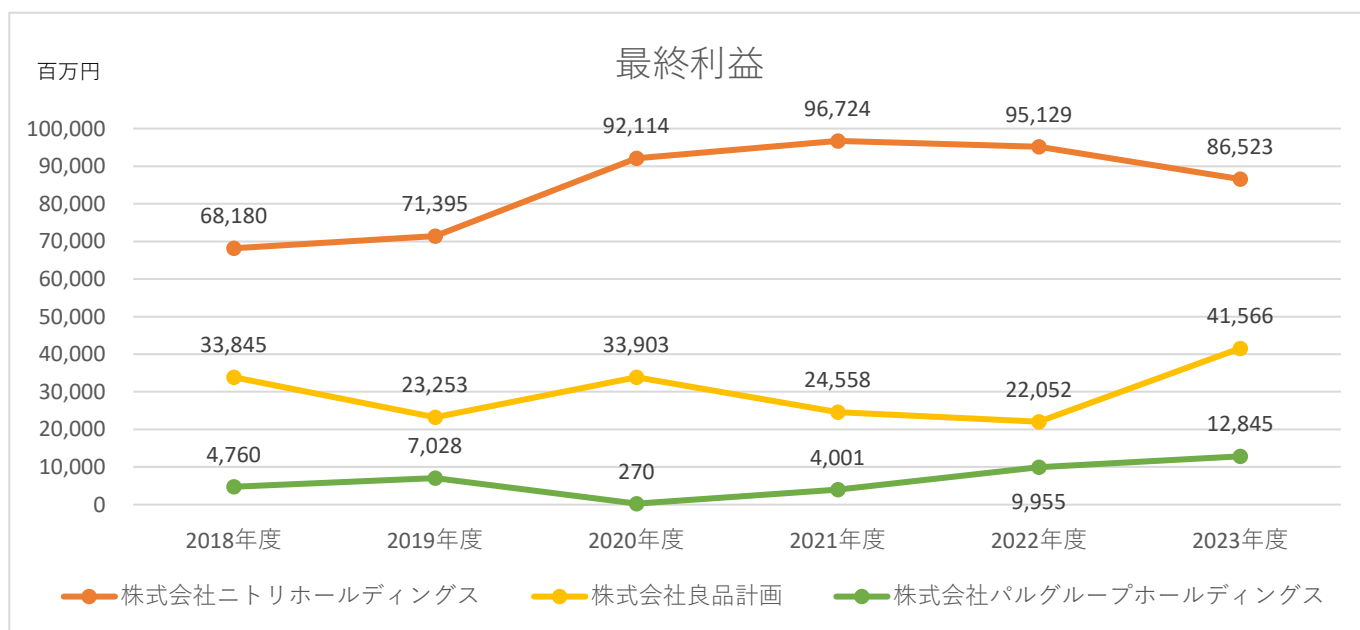
営業利益とは、企業の本業とする事業によって獲得した利益の金額のことであり、営業利益が高いほど本業とする事業で儲かっているということになる。

株式会社ニトリホールディングスは2020年度までは営業利益を着実に伸ばしていったが、2020年度以降ほとんど変わらず横ばいとなり、2023年度には営業利益はとうとう下落した。

株式会社良品計画は2020年度まではほとんど変わらなかったが、2021年度に一旦少し下落したが、2023年度に6年間の中で最大の営業利益を出した。

株式会社パルグループホールディングスはほとんど変わってはいないが、2020年度のコロナ禍の影響による下落を除いては、年々少しだが増加していることが分かる。

## 最終利益



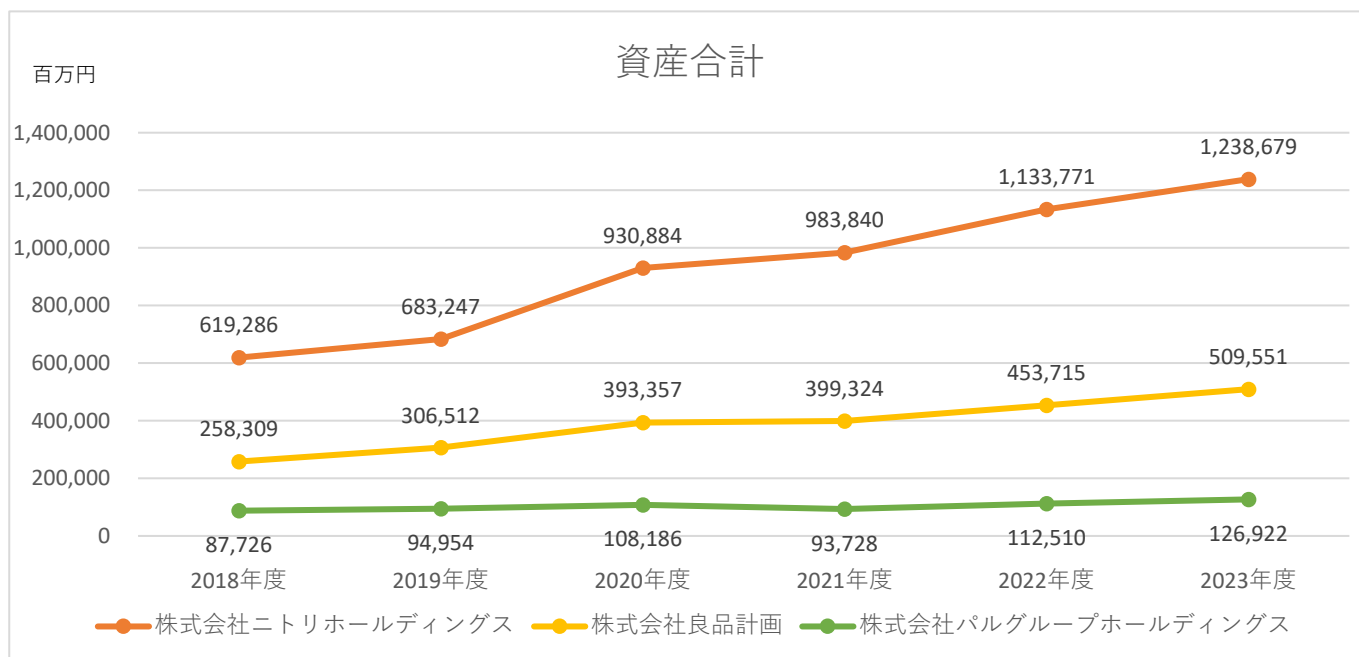
最終利益とは、親会社株主に帰属する当期純利益のことであり、これは純資産のうちの株主資本を当期純利益として増加させた金額のことをいう。

株式会社ニトリホールディングスは2020年度までは上昇していたが、2020年度を境に停滞するようになった。そして2023年度には減少した。

株式会社良品計画は上昇と下落を繰り返しているが、2023 年度には前年比の約 2 倍の最終利益を出すことができた。

株式会社パルグループホールディングスは 2020 年度には 270 百万円と 3 社の中で圧倒的に低い値が出たが、その後最終利益は上昇傾向にあり、2023 年度には、2020 年度の 270 百万円の値の約 5 0 倍の最終利益を出した。

## 資産合計



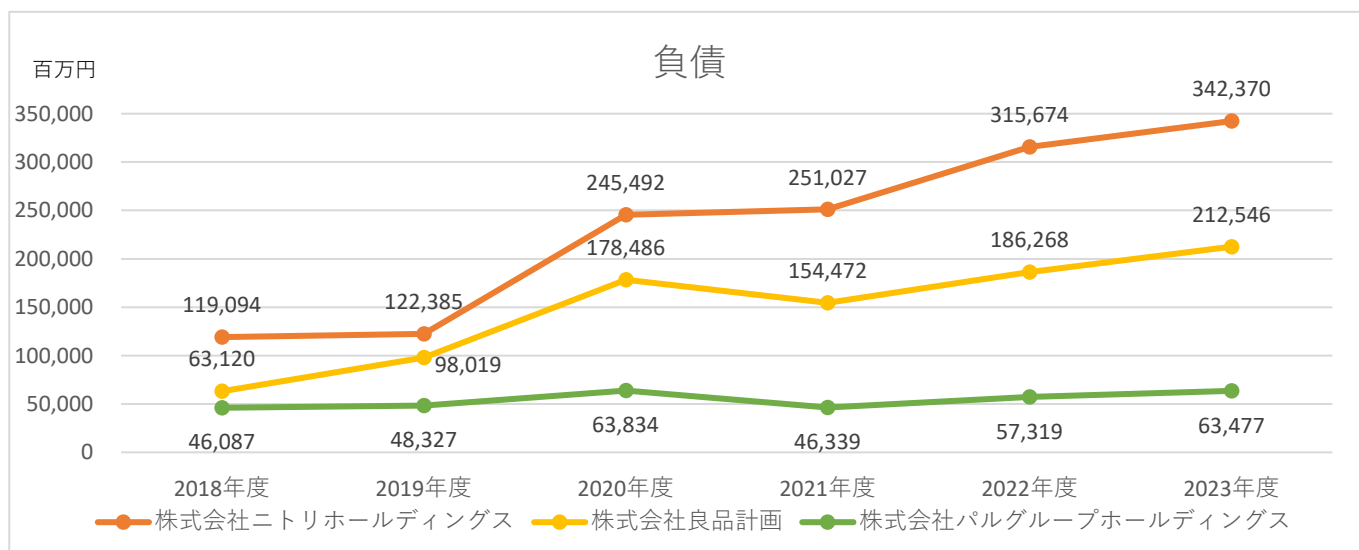
資産とは、将来企業に提供すると期待される経済的資源のことであり、資産は流動資産、固定資産、繰延資産の 3 つに区分される。

株式会社ニトリホールディングスは年々増加しており、2023 年度の資産合計は、2018 年度の資産合計の約 2 倍の値となった。また 3 社の中で最も多くの資産を保有している。

株式会社良品計画は年々少しずつではあるが、増加している。その結果 2023 年度には 2018 年度の資産合計の約 2 倍の資産を保有した。

株式会社パルグループホールディングスは 6 年間ほぼ横ばいであり、資産合計は変わっていない。

## 負債合計

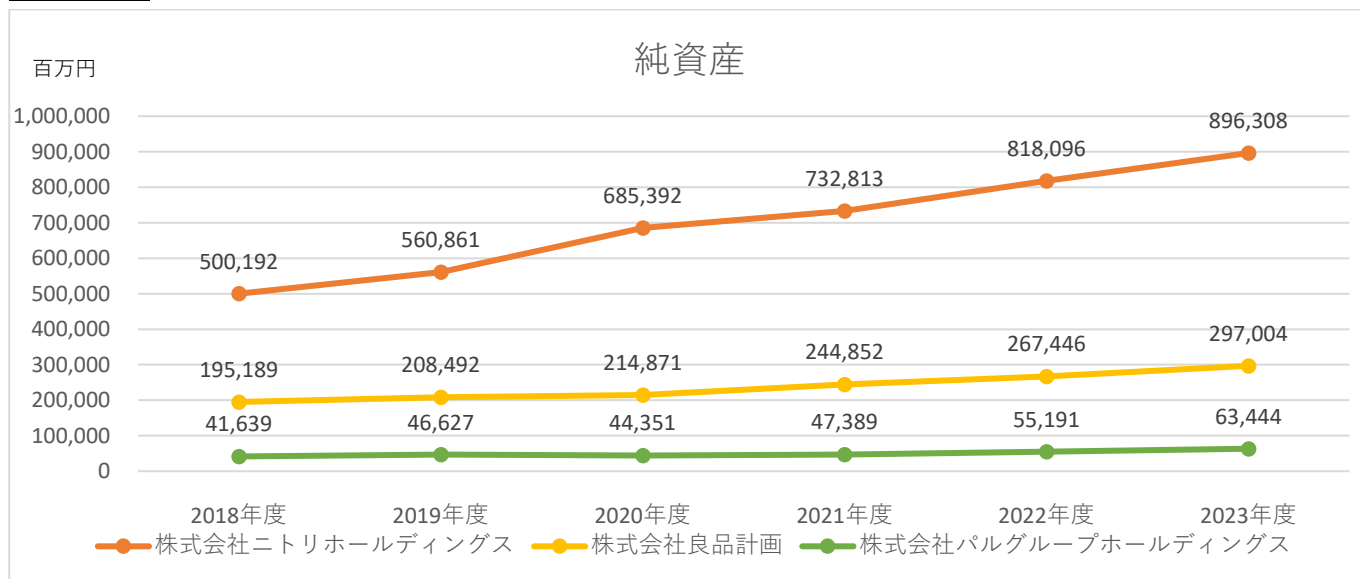


負債とは、現時点で企業が負っている、将来経済的資源を引き渡すという義務のことである。負債は流動負債、固定負債の2つに区分される。

株式会社良品計画と株式会社パルグループホールディングスは2018年度の時点ではあまり負債の量は変わらなかったが、株式会社良品計画は徐々に負債の量が増えていき、2023年度には株式会社パルグループホールディングスの約3倍の負債を抱えることになった。

株式会社ニトリホールディングスは2年ごとに負債が大きく上昇しており、2023年度の値は5年前の約3倍の負債となった。これは3社の中で最も負債を抱えていることになる。

#### 純資産合計

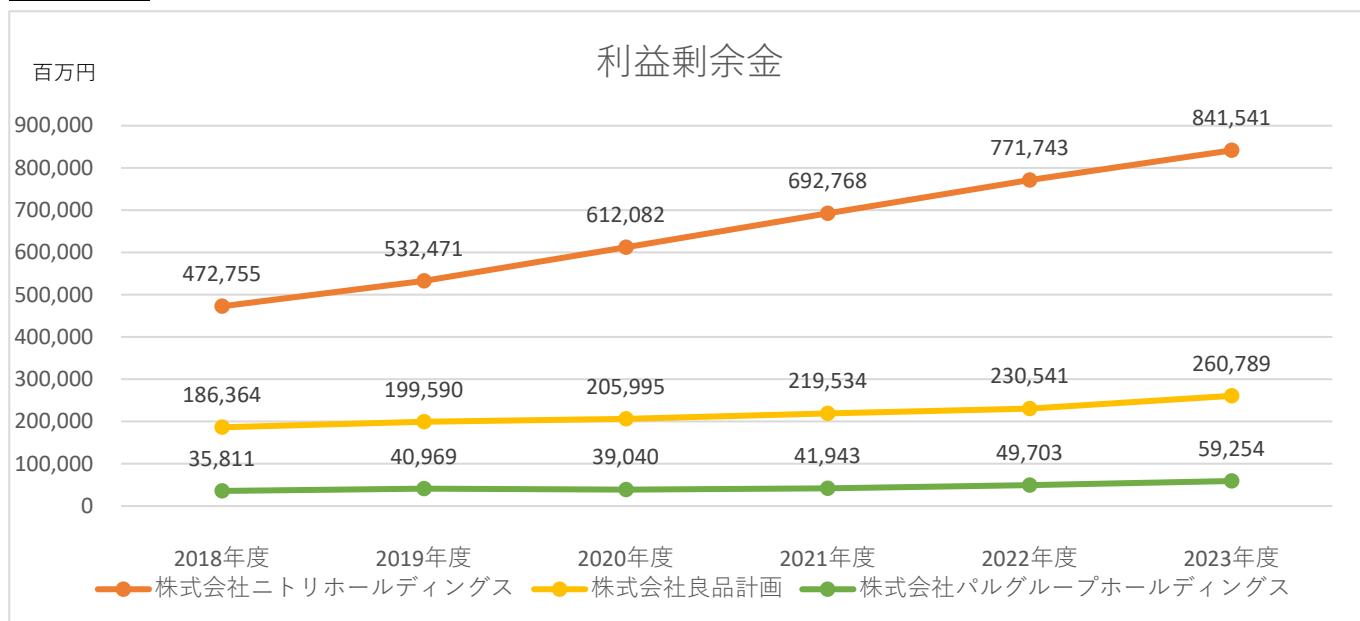


純資産とは、資産の総額から負債の総額を控除した残りの金額のことである。

株式会社良品計画と株式会社パルグループホールディングスはこの6年間横ばいを維持しながら、微量ずつ増加している。

株式会社ニトリホールディングスは他の2社と違い毎年大きく増加しており、2018年度は株式会社良品計画と約2.5倍しか差が広がっていなかったが、2023年度には約3倍の差が広がった。

## 利益剰余金



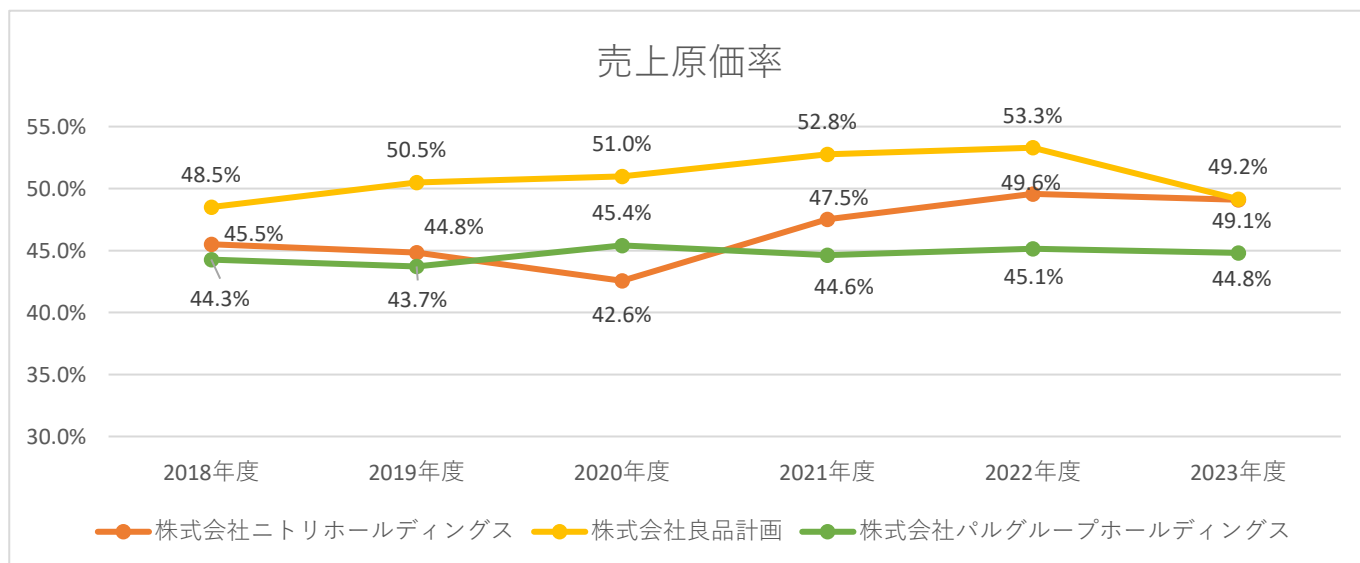
利益剰余金とは、企業が過去から当期末までに計上した当期純利益のうち会社内に利益を留保してある残高金額のことである。

株式会社良品計画と株式会社パルグループホールディングスはこの6年間ほとんど利益剰余金の合計は変わっていない。

しかし、株式会社ニトリホールディングスだけはこの6年間で大きく増加傾向にあり、2018年度と2023年度を比べると約470百万円増加している。

## ○収益性分析

### 売上原価率

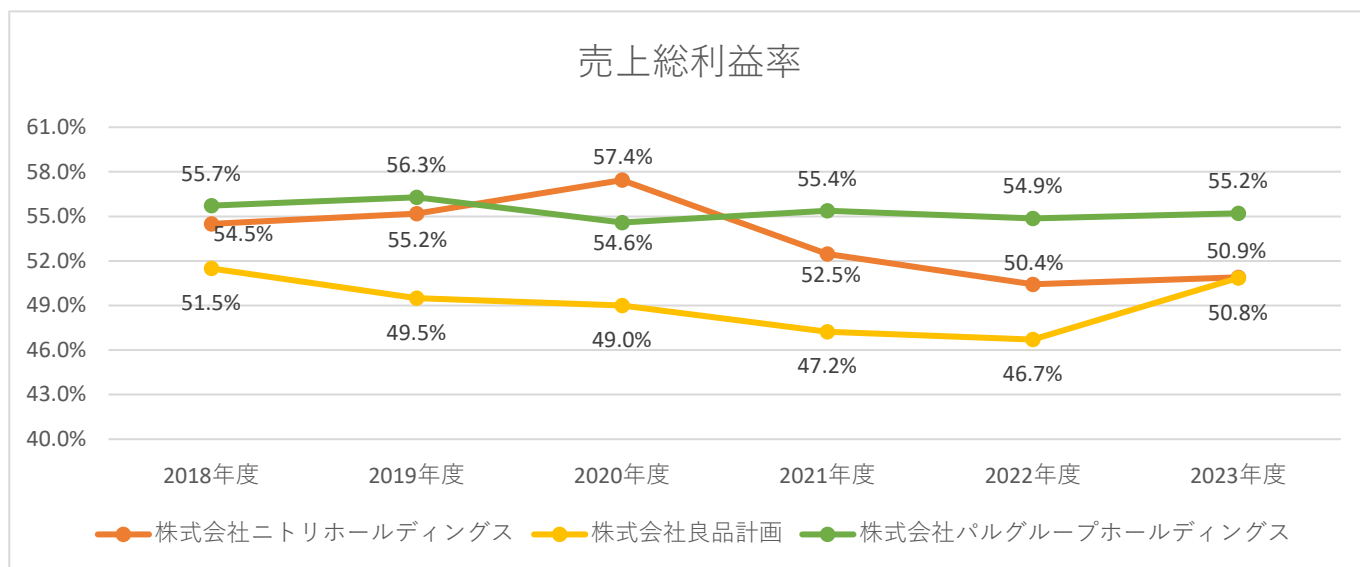


売上原価率とは、売上原価を売上高で除した金額のことである。

3社とも40%台から50%台を推移していることが分かる。

3社の中では株式会社良品計画が一番高い売上原価率であり、残りの2社は最初の2年間は両者ほとんど同じ値だったが、2020年に株式会社パルグループホールディングスが株式会社ニトリホールディングスを抜いた。しかし2021年度に株式会社ニトリホールディングスが売上原価率を上げ、2023年度にはこれまで3社の中で最も高い値を出していた株式会社良品計画と、0.1%しか変わらない値を出した。

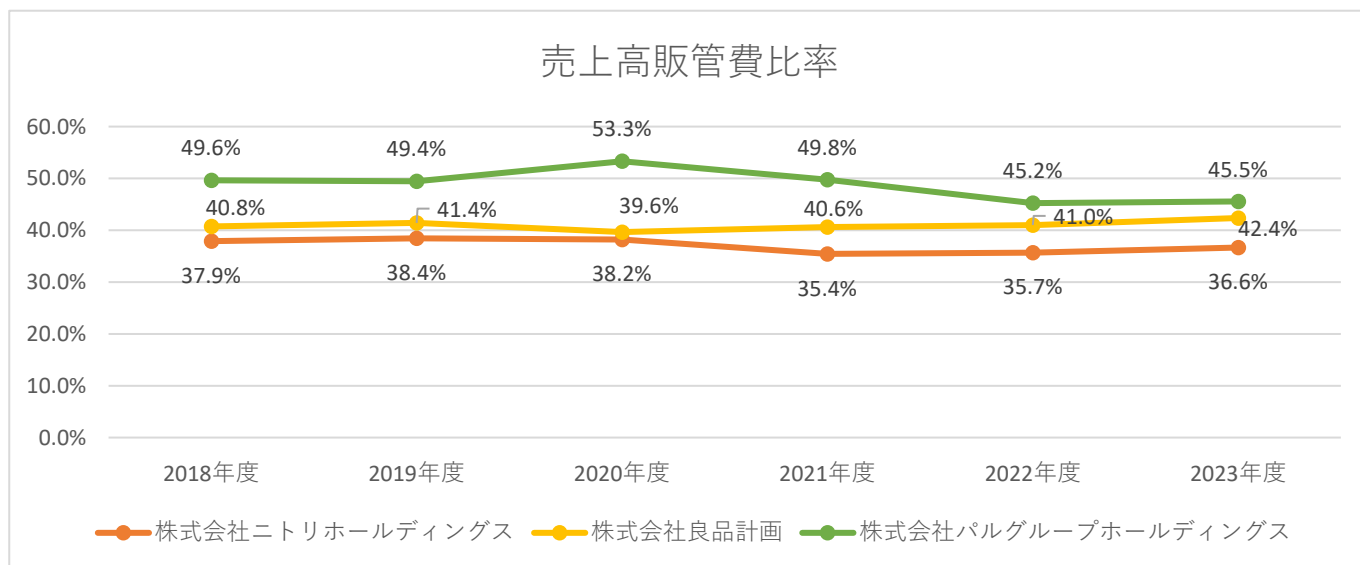
## 売上総利益率



売上総利益率とは、売上総利益から売上高を除した金額のことである。

先程の売上原価率と対称の結果が出ていることが分かる。株式会社良品計画が3社の中で最も低い値を出していたが、2023年度に売上総利益率を上げ、株式会社ニトリホールディングスとは0.1%、株式会社パルグループホールディングスとは4.4%と差を縮めた。

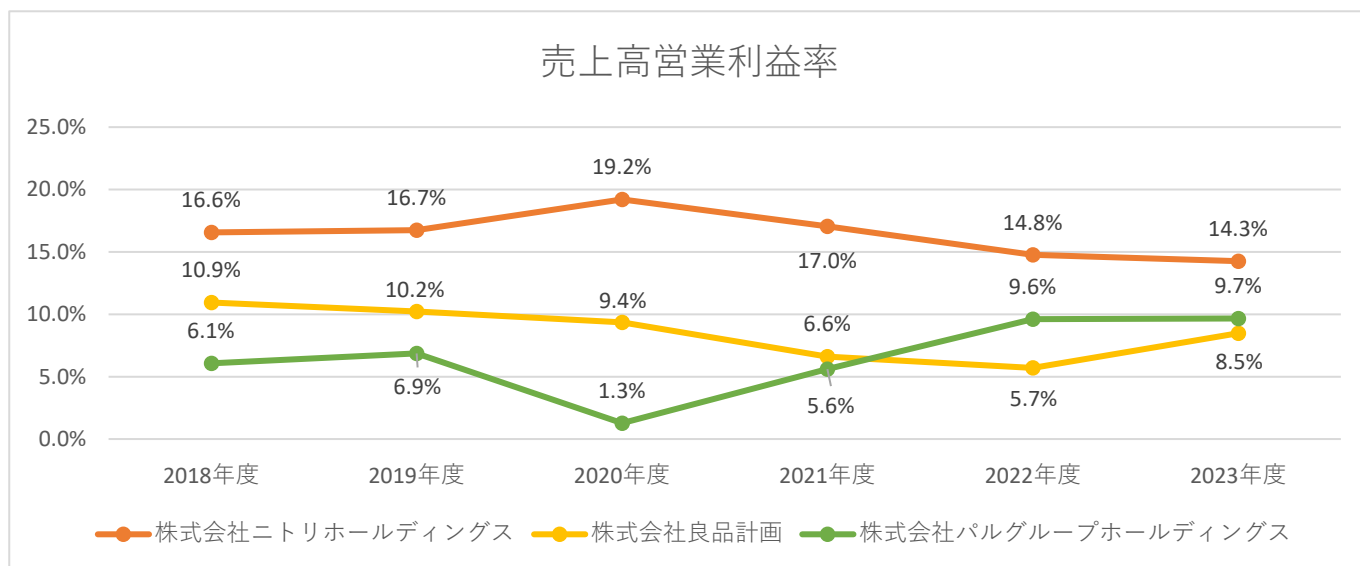
## 売上高販管費比率



売上高販管費比率とは、販売費及び一般管理費から売上高を除した金額のことである。

株式会社ニトリホールディングスと株式会社良品計画は6年間両者同じ程度の%だが、株式会社パルグループホールディングスのみ2社よりも高い値を出している。これは2社よりも管理活動の費用がかかっており、経営効率が悪いことが見てとれる。

## 売上高営業利益率



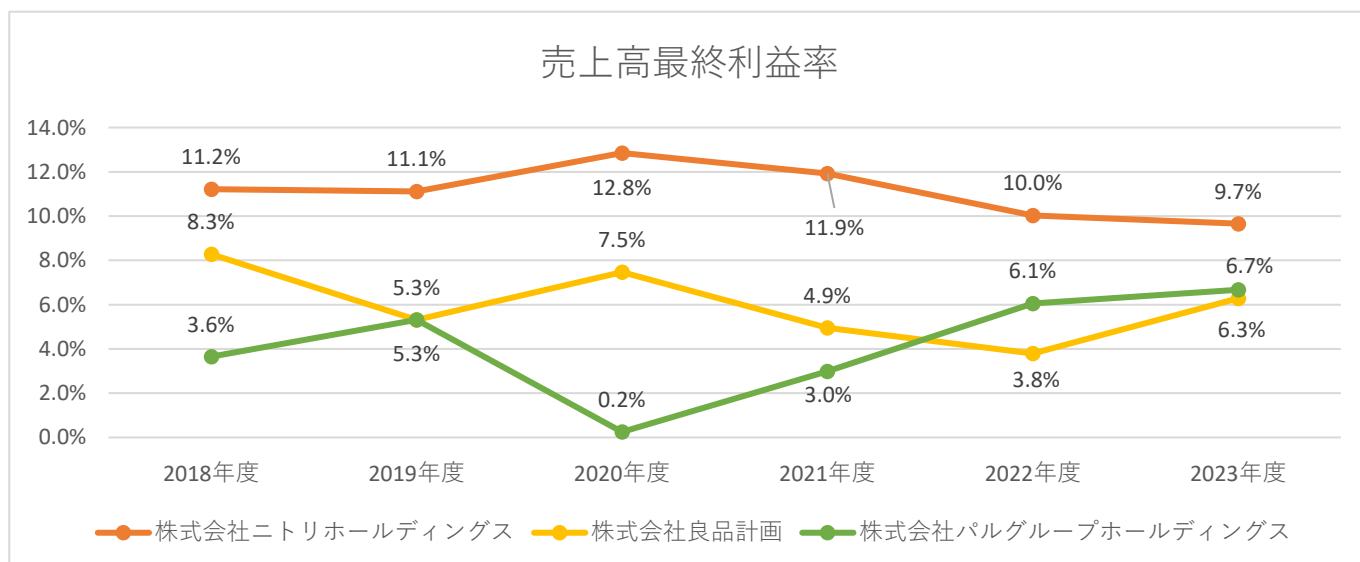
売上高営業利益率とは、営業利益から売上高を除した金額のことである。

株式会社ニトリホールディングスは6年間全体でみると、それほど売上高営業利益率は変わっていないように感じられる。

しかしそれに比べて株式会社良品計画は2022年度までは年々減少傾向にあったが、2023年度に約3%増加している。これは企業収益力が高くなったと考えられる。

一方で株式会社パルグループホールディングスは2020年度に1.3%とグラフの中で最も低い値を出したが、そこから売上高営業利益率を高めていき、2021年度から2023年度は株式会社良品計画よりも高い値を出すことができています。

## 売上高最終利益率

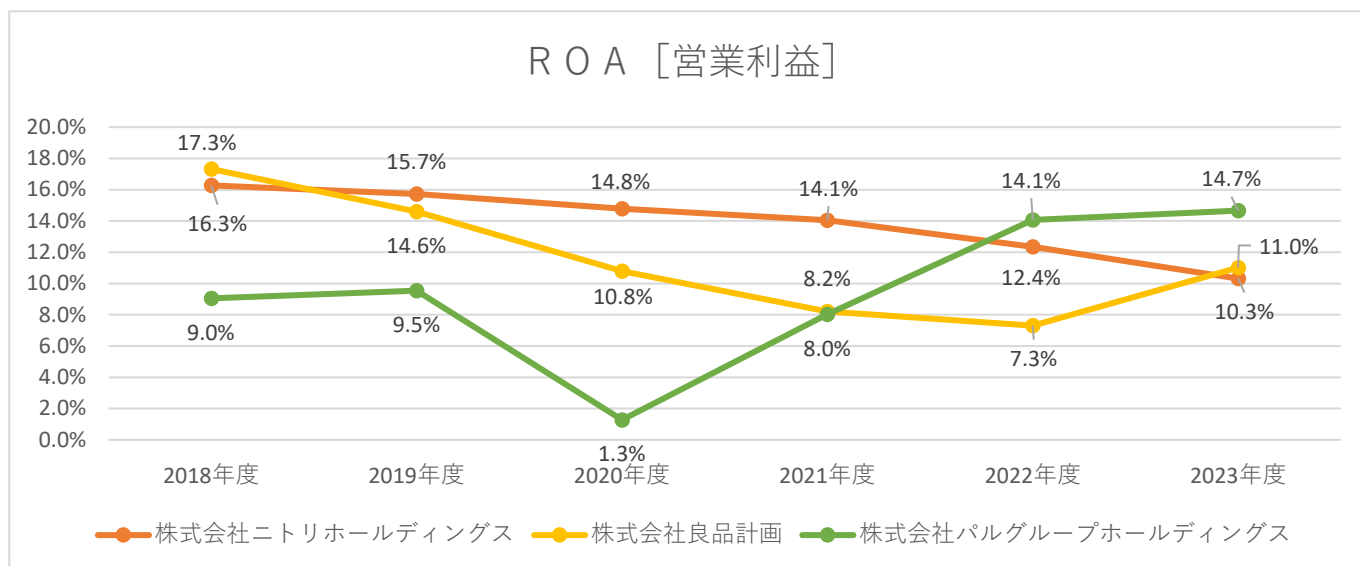


売上高最終利益率とは最終利益である親会社株主に帰属する当期純利益から売上高を除した金額のことである。

3社の中で6年間変わらず最も高い値を出しているのは株式会社ニトリホールディングスであり、残りの2社は年ごとに売上最終利益率が高い企業が入れ替わっていることが分かる。また2020年度では株式会社ニトリホールディングスと株式会社良品計画は売上高最終利益率を上げているのに対し、株式会社パルグループホールディングスのみ減少している。他にも2019年度と2023年度は株式会社良品計画と株式会社パルグループホールディングスの値がほぼ同じになっている。



## ROA（営業利益）

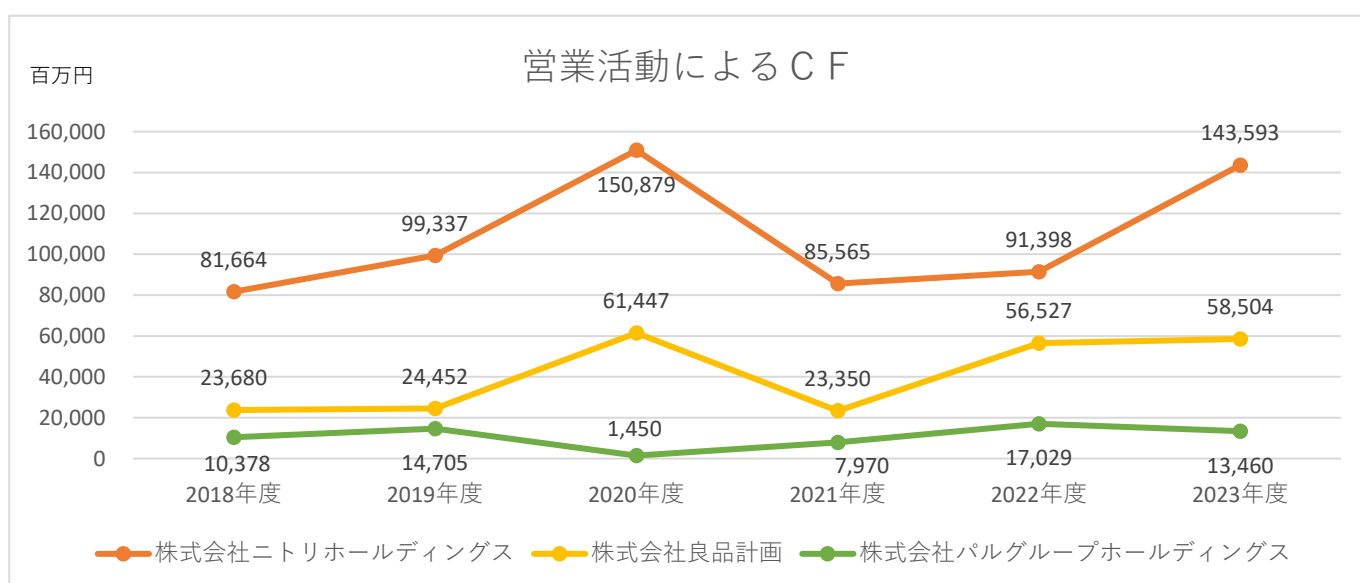


ROA（営業利益）とは、総資本利益率（営業利益）のことをいい、売上高営業利益率と総資本回転率を掛けた金額のことである。

株式会社ニトリホールディングスと株式会社良品計画は全体的に減少傾向にあるが、株式会社パルグループホールディングスのみ 2021 年度から急激に増加し、2018 年度では 3 社の中では最も低かったが、2023 年度には最も高い値を出している。これは株式会社パルグループホールディングスの 3 COINS 事業による 300 円に拘らない価格の商品の強化や、店舗の繁閑に合わせたシフト調整による人件費の削減によって、営業利益が大幅に増加したことが要因であると考えられる。

## ○キャッシュ・フロー分析

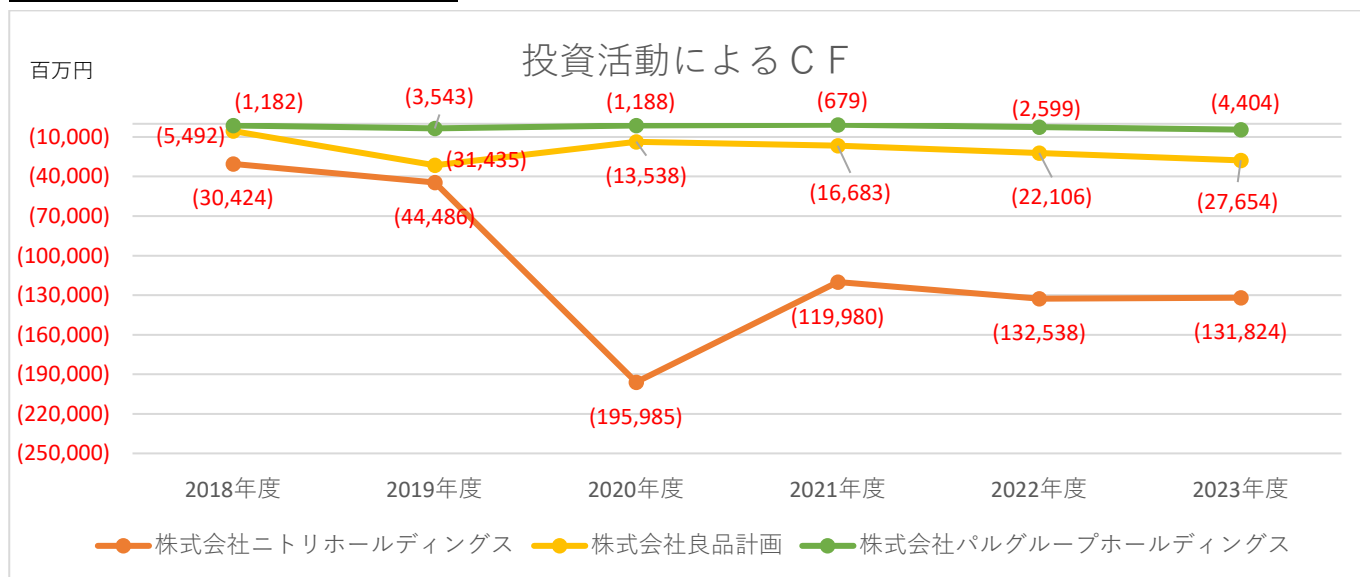
### 営業活動によるキャッシュ・フロー



営業活動によるキャッシュ・フローとは、企業集団の本業とする事業の基本業務活動において一会計期間中に生じた収入合計と支出合計の差額としての純収入金額のことである。

株式会社パルグループホールディングスは他の2社が急激に増加した年である2020年度に、前期の1/10の値に減少した。しかし翌年の2021年度には7,970百万円まで増加させた。対して2020年度は増加していた株式会社ニトリホールディングスと株式会社良品計画は2021年度には減少した。その後株式会社良品計画は2022年度に増加したのち横ばい状態だが、株式会社ニトリホールディングスは2022年度から2023年度にかけて大きく増加し、6年間のうち最も高い値である2020年度の値とほぼ同じ値にまで増加させた。

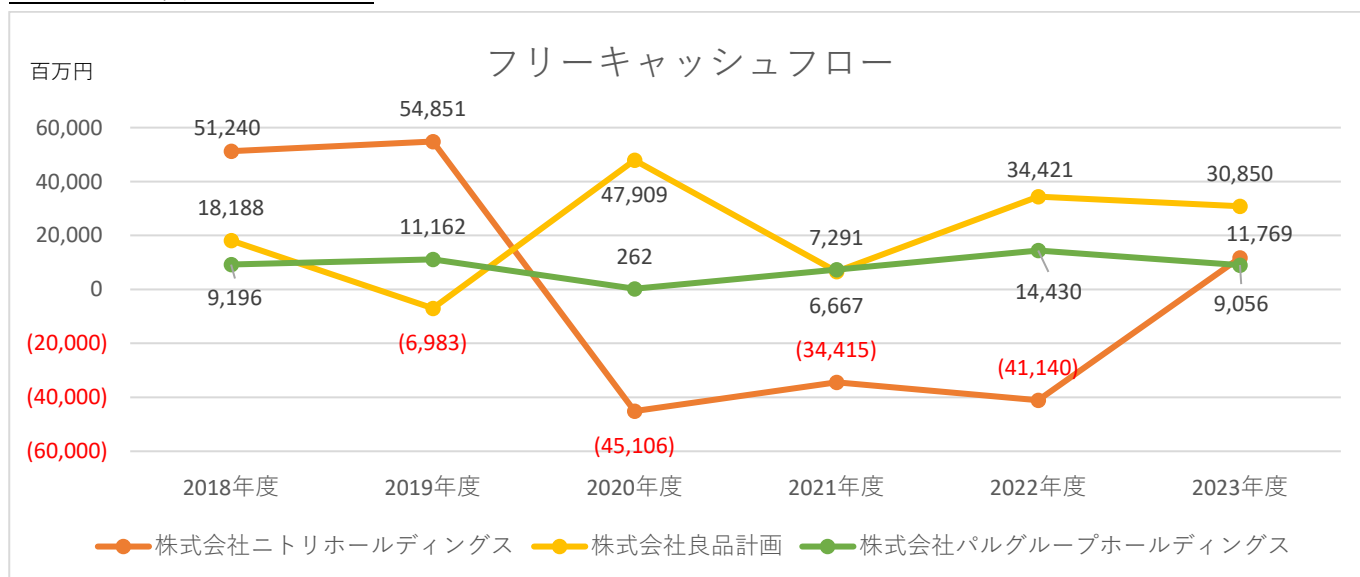
#### 投資活動によるキャッシュ・フロー



投資活動によるキャッシュ・フローとは、企業集団の投資活動において一会計期間中に生じた支出合計と収入合計の差額としての純支出金額のことである。

株式会社良品計画と株式会社パルグループホールディングスは6年間横ばい状態だが、株式会社ニトリホールディングスのみ2020年度に急激に減少している。これは新規出店や既存店の改装などの投資活動によって、急激にマイナスになっていると考えられる。

#### フリー・キャッシュ・フロー



フリー・キャッシュ・フローとは営業活動で獲得したキャッシュ・フローから、事業の維持と将来の成長のために必要な設備投資などのキャッシュ・フローを差し引いた金額のことである。

株式会社ニトリホールディングスは 2020 年度に急激に値が減少している。しかし 2023 年度にマイナスだった値から 9,056 百万円にまで増加した。

株式会社良品計画は 2019 年度だけマイナスの値になったが、他の年度ではプラスの値を出している。株式会社パルグループホールディングスは 6 年間であまり変化は見られない。

## ○成長性分析

### 売上高増加率

売上高増加率	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
株式会社ニトリホールディングス	6.3%	5.6%	11.6%	13.2%	16.8%	−5.5%
株式会社良品計画	7.9%	7.1%	3.6%	9.4%	17.2%	13.8%
株式会社パルグループホールディングス	5.9%	1.3%	−17.9%	23.7%	22.6%	17.1%

売上高増加率とは、売上高が前期と比べてどれだけ伸びているかを示す指標のことである。

株式会社良品計画は 6 年間 1 度もマイナスになっていないが、株式会社ニトリホールディングスと株式会社パルグループホールディングスは 1 度だけマイナスの値になっている。

### 経常利益増加率

経常利益増加率	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
株式会社ニトリホールディングス	8.6%	6.3%	26.4%	2.5%	1.6%	−8.1%
株式会社良品計画	−0.3%	−20.7%	24.7%	−18.0%	−2.8%	54.3%
株式会社パルグループホールディングス	12.4%	17.1%	−88.5%	628.1%	109.7%	17.3%

経常利益増加率とは、経常利益が前期と比べてどれだけ伸びているかを示す指標のことである。

株式会社良品計画は 6 年間のうち 4 年間マイナスになっている。

株式会社パルグループホールディングスは 1 度しかマイナスになっていないが、前期の値から約 5 倍分減少している。しかし翌年 - 88.5%から 628.1%にまで急激に増加した。

株式会社ニトリホールディングスは 2020 年度のみ他の年の増加と比べて大きく増加したが、2023 年度にマイナスになっている。

### 営業利益増加率

営業利益増加率	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
株式会社ニトリホールディングス	7.9%	6.6%	28.1%	0.4%	1.3%	－8.8%
株式会社良品計画	－1.2%	0.0%	－5.1%	－22.8%	1.1%	69.4%
株式会社パルグループホールディングス	12.7%	14.3%	－84.7%	443.7%	110.4%	17.6%

営業利益増加率とは、営業利益が前期と比べてどれだけ伸びているかを示す指標のことである。

株式会社ニトリホールディングスは 2020 年度以降減少傾向にある。

株式会社良品計画は 2021 年度までは減少傾向で、マイナスが続いていたが、2022 年度から増加傾向に変わった。

株式会社パルグループホールディングスは 2020 年度には急激に下がり、2021 年度には急激に増えたが、2023 年度には 2018、2019 年度の値とほぼ同じ値になった。

### 最終利益増加率

最終利益増加率	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
株式会社ニトリホールディングス	6.2%	4.7%	29.0%	5.0%	－1.6%	－9.0%
株式会社良品計画	12.4%	－31.3%	45.8%	－27.6%	－10.2%	88.5%
株式会社パルグループホールディングス	91.2%	47.6%	－96.2%	1381.9%	148.8%	29.0%

最終利益増加率とは、最終利益が前期と比べてどれだけ伸びているかを示す指標のことである。

株式会社ニトリホールディングスは 6 年間それほど変化はないが、株式会社パルグループホールディングスは 2021 年度に 1381.9%という驚異的な数字を出しており、前期と比べて急激に成長していることが分かる。

株式会社良品計画は増加と減少の繰り返しが続いているが、2023 年度に前期よりも 90%増加した。

### 純資産増加率

純資産増加率	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
株式会社ニトリホールディングス	13.3%	12.1%	22.2%	6.9%	11.6%	9.6%
株式会社良品計画	11.9%	6.8%	3.1%	14.0%	9.2%	11.1%
株式会社パルグループホールディングス	8.2%	12.0%	－4.9%	6.8%	16.5%	15.0%

純資産増加率とは、純資産が前期と比べてどれだけ伸びているかを示す指標のことである。

3社とも6年間然程変化はない。しかし2018年度の利益剰余金増加率のランキングと2023年度では正反対の順位になっている。

#### 利益剰余金増加率

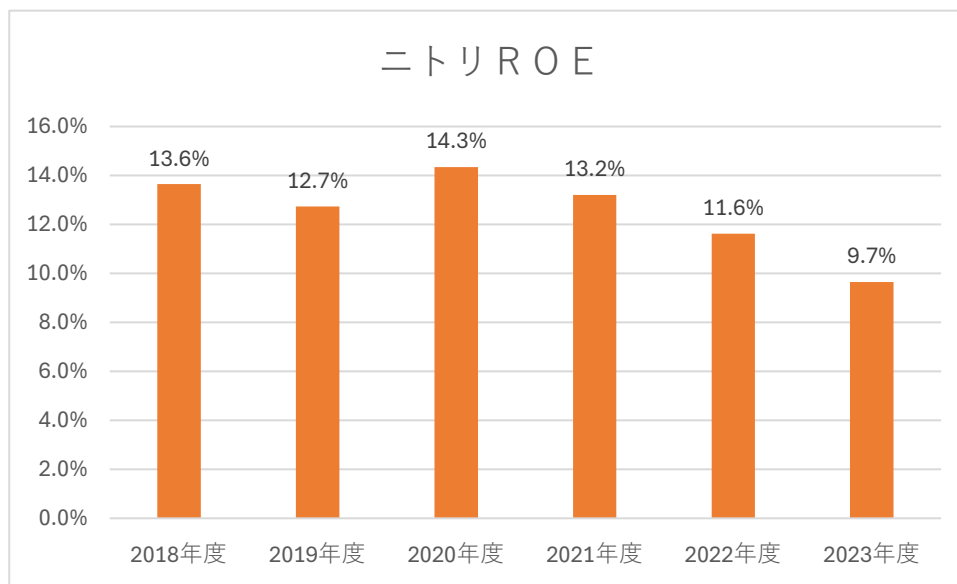
利益剰余金増加率	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
株式会社ニトリホールディングス	13.9%	12.6%	15.0%	13.2%	11.4%	9.0%
株式会社良品計画	14.8%	7.1%	3.2%	6.6%	5.0%	13.1%
株式会社パルグループホールディングス	9.5%	14.4%	-4.7%	7.4%	18.5%	19.2%

利益剰余金増加率とは、利益剰余金が前期と比べてどれだけ伸びているかを示す指標のことである。

この表も純資産増加率と同様に、株式会社パルグループホールディングスのみ2020年度にマイナスの値になっている。

#### ○ROE分析

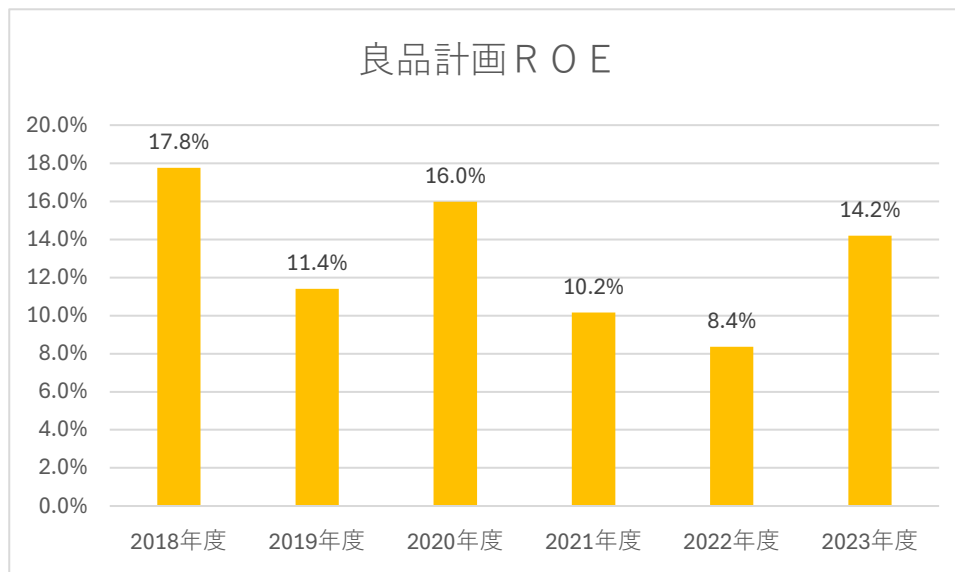
##### 株式会社ニトリホールディングス



株式会社ニトリホールディングスは2023年度以外は全て10%以上の値を出しており、5年間高い値を維持し続けることができていると考えられる。

これは粗利益に対して継続的に改善を行っている点が安定的に高い資本効率を実現していることが理由である。このため今後も継続して改善し、利益を上げ事業を成長させることによって長期持続的に高い水準を保つことが可能である。しかし2023年度に下がった理由としては、当期純利益が前期と比べて10,000百万円減少したことが理由だと考えられる。これは円安の影響によって原材料の高騰や賃金の上昇などのコストの増加が原因だと考えられる。これらを改善する為に、原材料費の見直しやシフト管理の調整が大事である。

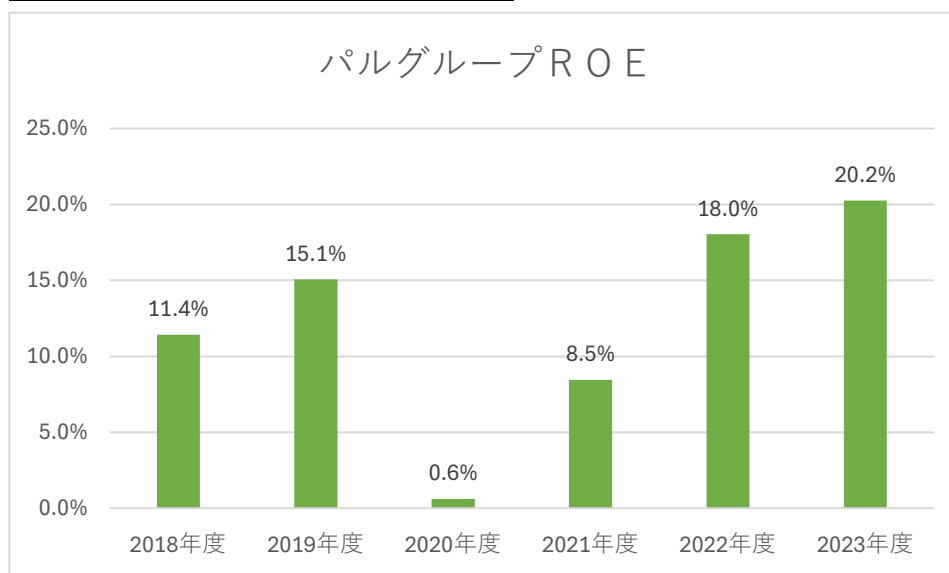
## 株式会社良品計画



株式会社良品計画は 2022 年度以外は 10%以上の値を出すことに成功している。しかし ROE の値は増加と減少を繰り返していることが分かる。

2022 年度に大きく減少した要因としては、負債の増加に伴って最終利益が減少したことが理由だと考えられる。2023 年度は負債も上昇しているが、新規出店による店舗数の増加や国内の売上が好調となった為、最終利益は増加したので ROE の値も上がっている。長期持続的に 10%以上を保つために、スキンケアや日用消耗品をはじめとする生活雑貨の商品を積極的に販売し、また SNS や自社アプリ MUJI passport 等のマーケティング活動を継続的に行うことで顧客を集めることが大事だと考える。

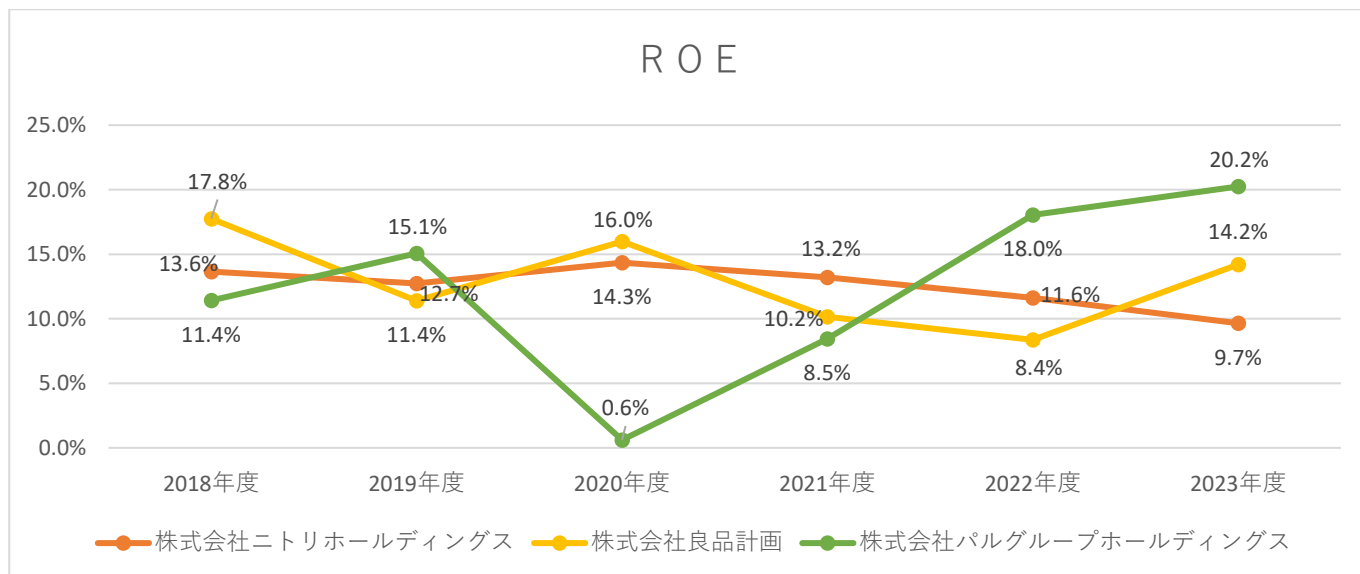
## 株式会社パルグループホールディングス



株式会社パルグループホールディングスは 2020 年度に 0.6%と 3 社の 6 年間での ROE の値では圧倒的に低い値が出ている。しかし 2021 年度に 10%以下ではあるが回復し、2023 年度には 3 社の 6 年間のうち最も高い 20.2%を出すことに成功した。

2020 年度に急激に下がった理由としては、新型コロナウイルス感染症により消費・生産が大きく減少し、最終利益は前年度の約 4/100 となったことが原因である。ROE を長期継続的に 10%以上にするために、増収増益を目指して 3 COINS 事業における 300 円越えの商品開発の強化や、小売価格を抑えるために仕入れサイドでの直接貿易の強化をすることが大事だと考えられる。

## ROE 比較



株式会社ニトリホールディングスは6年間あまり%は変わっていないように感じられるが、詳しく見ると、2020年度以降減少傾向にあり、3社の中では2021年度ではトップだったのにも関わらず、2023年度には最も低い%になってしまった。

株式会社良品計画は2020年度以降徐々に減少していき8.4%にも下がり10%未満になってしまったが、2023年度に再び増加し10%以上の値である14.2%になった。

株式会社パルグループホールディングスは2019年度には15.1%と3社の中で一番高い数字を出したが、コロナ禍によって次年度に0.6%と急激に減少した。しかしその後大きく年々増加していき、2023年度には20.2%と最低値であった0.6%の約35倍の値を出し回復した。

ROE と ROA は以下の計算式で計算することができる。

$ROE = \text{売上高最終利益率} \times \text{総資本回転率} \times \text{財務レバレッジ比率}$

$ROA (\text{最終利益}) = \text{売上高最終利益率} \times \text{総資本回転率}$

※最終利益は親会社株主当期純利益である。

株式会社ニトリホールディングス

	売上高	総資本回転率	財務レバレッジ	ROA	ROE
	最終利益率	(回)	比率(倍)	[最終利益]	
2018年度	11.2%	0.98	1.24	11.0%	13.6%
2019年度	11.1%	0.94	1.22	10.4%	12.7%
2020年度	12.8%	0.77	1.45	9.9%	14.3%
2021年度	11.9%	0.82	1.34	9.8%	13.2%
2022年度	10.0%	0.84	1.39	8.4%	11.6%
2023年度	9.7%	0.72	1.38	7.0%	9.7%

株式会社良品計画

	売上高	総資本回転率	財務レバレッジ	ROA	ROE
	最終利益率	(回)	比率(倍)	[最終利益]	
2018年度	8.3%	1.58	1.35	13.1%	17.8%
2019年度	5.3%	1.43	1.50	7.6%	11.4%
2020年度	7.5%	1.15	1.85	8.6%	16.0%
2021年度	4.9%	1.24	1.65	6.1%	10.2%
2022年度	3.8%	1.28	1.72	4.9%	8.4%
2023年度	6.3%	1.30	1.74	8.2%	14.2%

株式会社パルグループホールディングス

	売上高	総資本回転率	財務レバレッジ	ROA	ROE
	最終利益率	(回)	比率(倍)	[最終利益]	
2018年度	3.6%	1.49	2.11	5.4%	11.4%
2019年度	5.3%	1.39	2.04	7.4%	15.1%
2020年度	0.2%	1.00	2.44	0.2%	0.6%
2021年度	3.0%	1.43	1.98	4.3%	8.5%
2022年度	6.1%	1.46	2.04	8.8%	18.0%
2023年度	6.7%	1.52	2.00	10.1%	20.2%



## 設問⑤ 企業分析のまとめ：企業の将来性

ここまでインテリア業界である「株式会社ニトリホールディングス」、「株式会社良品」、「株式会社パルグループホールディングス」の3社の企業分析と経営比較をしてきた。以下に、分析結果をまとめる。

株式会社ニトリホールディングスは3社の中で売上高、営業利益、最終利益、総資産、売上高最終利益率ともに6年間常に最も高い値を出している。これは本業で効率的に稼いでいることや、景気の変動や市場の変化に柔軟に対応していることが分かる。

また利益剰余金も年々増えており、このことから企業の経営が安定しており、企業の危機の際に企業を守ることが可能になったり、成長のための攻めにも使うことができる。

しかし売上総利益率は年々下がってきており、商品の付加価値が低いことが分かる。これは商品構成の見直しや仕入れコストの見直し、新製品の開発が重要であると考えられる。

株式会社良品計画は売上原価率が3社の中で最も高く、これはコストの割合が高くなり、利益が出ずらいビジネスとなってしまう。売上原価率が高い理由としては、廃棄商品や値引き商品などにより売上に繋がらなかったことが理由である。実際株式会社良品計画の無印良品のオンラインストアを見てみると、クリスマスなどの行事商品や、傷や汚れなどがついているがまだ十分に使える商品などを、在庫処分セールや、もったいない市として低価格で販売していた。

しかしフリー・キャッシュ・フローが2023年度は3社の中で一番高く、将来的な成長や事業拡大を目指すことが一番可能であると考えられる。

株式会社パルグループホールディングスは3社の中では一番売上高が低い、対してROEの割合はここ3年で急激に上昇し、2023年度には最も高い値を出している。これは利益が増加し事業が順調に進んでいることが分かる。この要因は3COINS事業によるもので、コアターゲットの再設定、コラボ企画、店舗のバージョンアップなどによって急成長を遂げた。現在の売上の約4割が3COINSによるもので、成長がはっきりと分かる。

しかし純資産が3社の中で一番多い企業であり、企業の安定性が低く、負債が多いことが分かる。これは債務超過の状態が続いてしまうと、会社の存続が困難になってしまう可能性がある。

このように3社ともそれぞれの強み、弱みを持っており、どの企業が一番優れているかは判断基準によって変わってくる。インテリア業界はコロナ禍による住環境の見直しによって需要が高まったが、少子高齢化によってインテリアマーケットは縮小する可能性がとて高い。しかし外国のインテリア業界は需要の増加に伴って家具市場が拡大している。なので各企業の海外への事業拡大の成長力が今後の事業に大きく影響するだろう。

## 参考文献

矢部孝太郎編著「財務報告論 第3版」中央経済社

株式会社ニトリホールディングス <https://www.nitorihd.co.jp>

株式会社良品計画 <https://www.ryohin-keikaku.jp>

株式会社パルグループホールディング <https://www.palgroup.holdings>